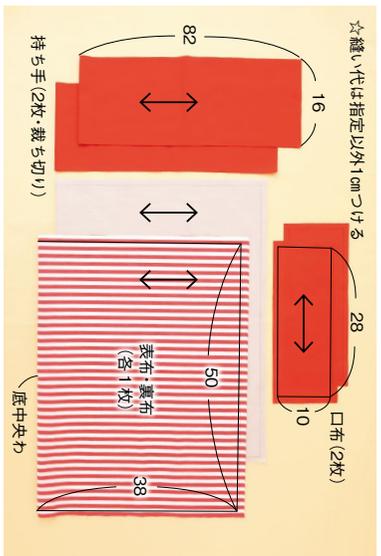




リボンバッグを作ってみましょう

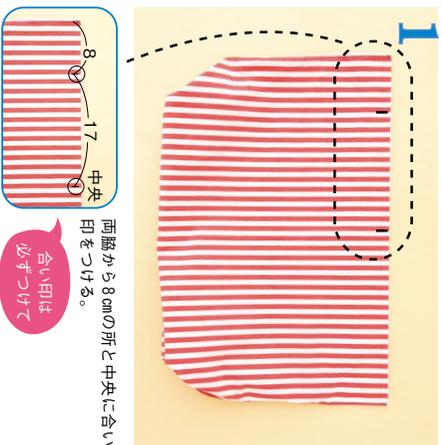
きれいな仕立てのいちばんのポイントは裁断とアイロンかけです。寸法どおりに裁断し、こまめにアイロンをかけることでピシッと仕上がります。

※色のバリエーションとして、作品とは違う色で製作しています。
※わかりやすく説明するため、糸の色を覚えていきます。
実際に作る際は、布の色に合わせた糸をお選びください。



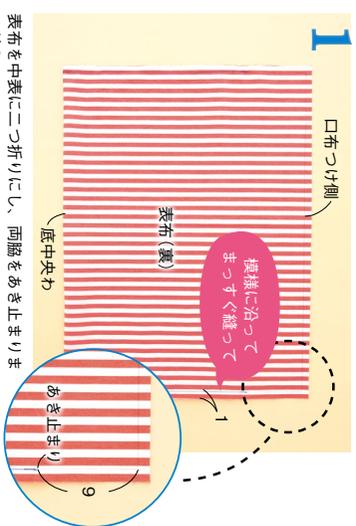
材料 表布 60×85cm、裏布 60×85cm、口布・持ち手 65×90cm。

2 ギャザーを寄せます



両脇から8cmの所と中央に合い印をつける。

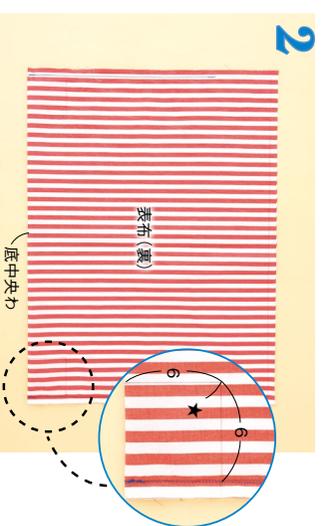
1 本体を作ります



表布を中表に二つ折りにし、両脇をあき止まりまで縫う。



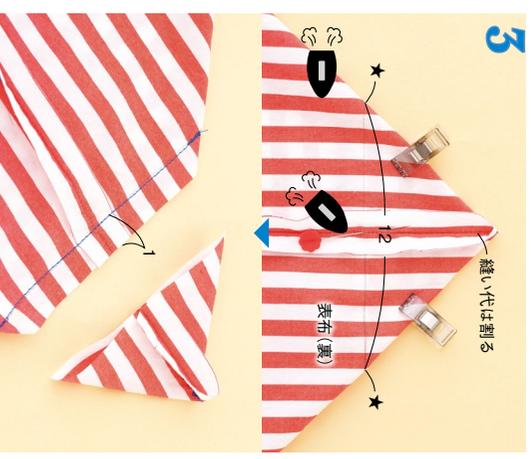
裏袋も表袋と同様に作る。



底にまちの案内線を入れる。



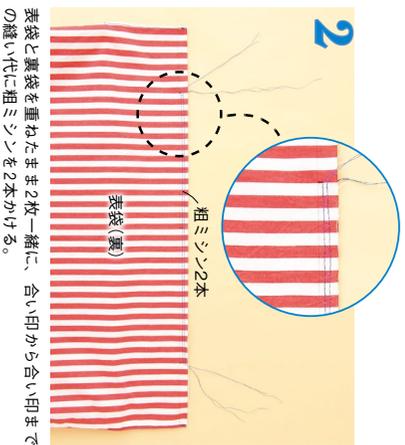
表袋と裏袋を外表に重ね、あき口に押さえのステッチをかける (しつけをかけておくと、すれが防げる)。あき止まりはV字にステッチを。



まちを縫う。脇の縫い目と底中央を合わせ、案内線の角 (★) が折り目にくるように三角に折り、アイロンで押さえる。案内線の上を縫い、縫い代1cm残して糸分をカットする。



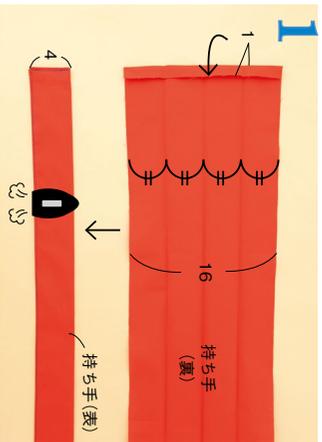
一気に引くと糸が切れることもあるので注意しましょう



表袋と裏袋を重ねたまま2枚一緒に、合い印から合い印までの縫い代に粗ミシンを2本かける。



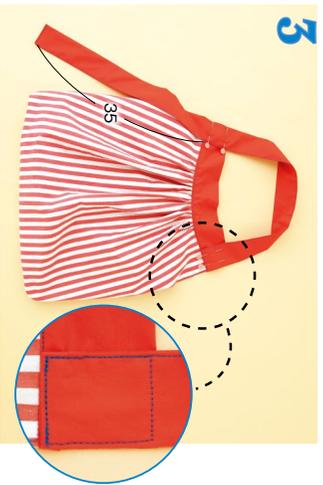
4 持ち手を作り、つけます



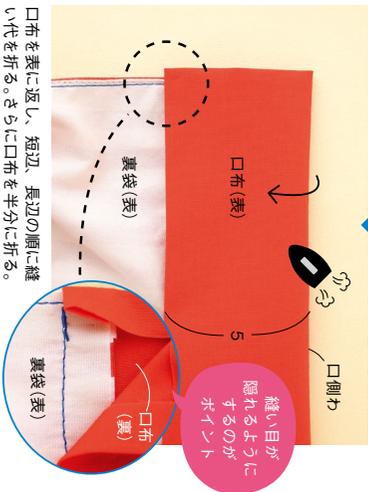
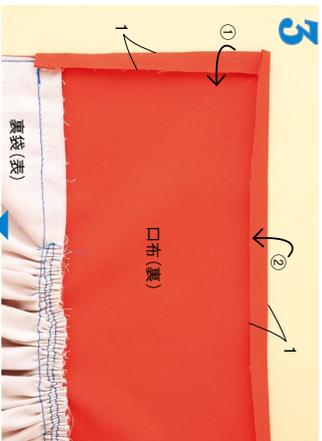
短辺を10cm折り、長辺を四つ折りにする。アイロンでしっかかりと折り目をつける。



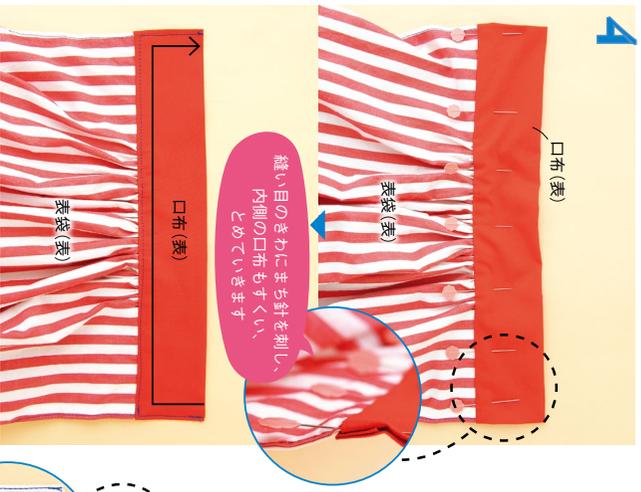
この字に端ミシンをかける。2本作る。



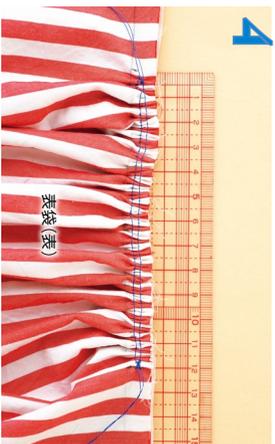
口布に持ち手を縫いとめる。反対側も同様に縫いとめる。



口布を裏に返し、短辺、長辺の順に縫い代を折る。さらに口布を半分に分ける。



裏袋側からまち針をとめ、この字にスリッチをかける。反対側も同様に口布をつける。

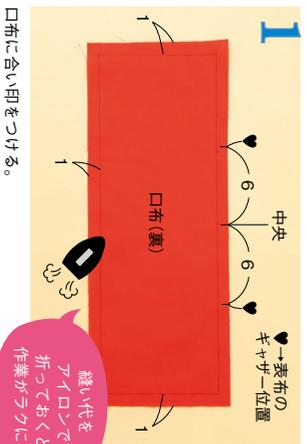


定規を当てて12cmになるまで縮めたら糸を結んでおく。



ギヤサーが均等になるように整えたら、アイロンで縫い代をしっかり押さえてギヤサーを落ち着かせる。反対側も同様に。

3 口布をつけます



口布に合い印をつける。

